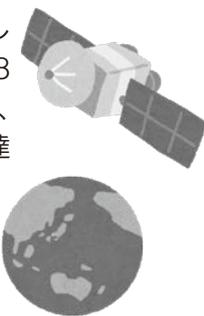


現在の気象観測技術は年々格段に進歩しています。例えば、気象衛星「ひまわり8号」は日本付近を2分30秒毎に観測し、台風や集中豪雨をもたらす雲の移動・発達の様子などを、いち早くとらえます。また、公共施設や河川に設置されている雨量計・水位計は、観測データを全国各地から数分毎に収集、解析するなど、日々技術の革新が図られています。



これらをもとに、気象庁・都道府県は様々な情報（気象警報、注意報、土砂災害、浸水害など）を発表、市町村にも通知されます。そして各自自治体で、避難準備情報や避難勧告などの情報を状況に応じ、次のような方法で発信します。

- ・防災行政無線による放送
- ・携帯電話などへの緊急速報メール
- ・消防車や、市の広報車による巡回

…これらの情報発信を受け、更に詳細を知りたい場合や、また日常から誰もが積極的に情報を入手できる方法があります。

①テレビのデータ放送

災害発生時、通常の放送中でも画面の一部に緊急情報が表示されていますが、もっと詳しく知りたい場合、リモコンの「d(データ)ボタン」を押してみてください。

たとえば、NHK総合チャンネルの場合、dボタンを押すと、「ニュース」、「気象情報」、「防災・生活情報」などが表示されます。「防災・生活情報」を選択すると、「警報・注意報」、「河川水位・雨量」、「道路交通情報」、「避難所情報」など様々な情報が提供されています。



②インターネット

市のウェブサイトや、「おおさか防災ネット」のページから、府内各市町村の防災情報をご覧いただけます。

また、「おおさか防災ネット」の「防災情報メール」に登録すると、気象警報が発表された時などに、登録時に選択した情報が携帯電話に配信されます。



<問合せ> 危機管理室 ☎ 947-3909 (直通)

みんなで防ごう土砂災害

- 土砂災害防止月間 6月1日(水)～6月30日(木)
- がけ崩れ防災週間 6月1日(水)～6月7日(火)

近年、異常な集中豪雨により、土石流、がけ崩れなどの土砂災害が発生し、人命・家屋などに大きな被害が出ています。

今年もまた、土砂災害の起こりやすい長雨の季節となりました。土砂災害に対する備えや、避難場所などをこの機会に再確認しましょう。

◆災害に備えた日頃の準備◆

1. 日頃から天気予報や注意報に関心を持ちましょう
2. 避難場所、避難経路を確認しましょう
3. 緊急時に必要な用品を準備しておきましょう

土石流		急な渓谷を、水を含んだ大量の土砂・礫が津波のように流れ下るもので、「山津波」とも呼ばれています。流れの先端部に大きな礫があることが多く、その流れの速さは時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や田畑を壊滅させてしまいます。
がけ崩れ		雨で地面にしみこんだ水分が土の抵抗力を弱め、斜面が急に崩れ落ちることです。また、崩れ落ちる速度も速く、地震が原因で起こることもあり、人家の近くで起こると、死者の出る悲惨な災害となります。
地すべり		粘土質など、すべりやすい土質を境目に、その上部の地面が動き出してゆっくりすべり落ちることです。がけ崩れに似ていますが、傾斜のゆるい斜面でも発生し、ゆっくりと継続的にすべることもあります。また、発生規模も広範囲にわたります。

～防災情報を手軽にあなたのもとへ～

- 携帯電話のメール配信サービスに登録
 - ・おおさか防災ネットメール配信サービスより、「土砂災害警戒情報」などを利用者の選択した地域(市町村)ごとに携帯電話メールで配信しています。(その他「大雨・洪水警報などの気象情報」、「台風、地震・津波情報」、「災害時の避難勧告・避難指示」などの情報も配信)また、「河川防災情報」、「川の防災情報」などの情報も携帯電話でご覧頂けます。
- <登録のしかた>

① touroku@osaka-bousai.net へ空メールを送信。(下のQRコードを読み取ると、メールアドレスが表示されます)

② 返信メールが届いたら、「登録用URL」にアクセスし、ご登録ください。

※登録料、利用料は無料。メールの送受信にかかる通信料は、利用者負担。



こちらのQRコードを読み取り、空メールを送信→

●パソコン、スマートフォンで「おおさか防災ネット」ウェブサイトから、情報入手する。

土砂災害の防災情報

